

にいがた女と男フェスティバル2023

戦後新潟女性労働史講座

戦後新潟の女性たちはどのように働いてきたのでしょうか。祖母・母親そして自分の人生と働き方を振り返ることを通して、よりよく生きるヒントを考えてみませんか。

未来は過去の延長線上に描かれます。過去の女性の働き方の歴史から未来の女性の働き方と人生を展望してみましょう。

戦前・戦中期：女性が無能力者とされていた時代

混乱・復興期：生きるために働いた時代

高度経済成長期：豊かさを求め働いた時代

安定経済成長期：心の豊かさを求め働いた時代

成熟・停滞経済期：生き甲斐を求め働く時代

としてみましょう。それぞれの時代に女性たちは何を求めて生き、どのように働いてきたのでしょうか。

一緒に考えてみませんか。

主催：NPO 法人フードバンクにいがた新潟センター

時間：6月24日午後1時30分～3時30分 会場定員：30名

場所：新潟ユニゾンプラザ5階特別会議室※オンライン参加も可能です

講師：女性史研究家 高橋忠好

受講申し込み先：高橋 電話 080-6783-5535 FAX 025-284-0596

メール：tadayoshi@ma.tlp.ne.jp

新潟ユニゾンプラザ所在：新潟市中央区上所2-2-2

・当日は駐車場の混雑が予想されます。車でお越しの際は時間に余裕を持ってください。又は公共交通機関を利用して下さい。

・新型コロナウイルスの影響により、やむなく中止、もしくは縮小開催される可能性があります。

・生後6月以上、小学校低学年までのお子さんの一時保育があります。

定員5名保育協力費子供1名・1回200円

※一時保育の申し込み先は(公財)新潟県女性財団(025-285-6635)

戦後新潟女性労働史講座では時代区分を

戦前・戦中期：女性が無能力者とされていた時代（～S20）

混乱・復興期：生きるために働いた時代（S20～30）

高度経済成長期：豊かさを求め働いた時代（S31～48）

安定経済成長期：心の豊かさを求め働いた時代（S49～H2）

成熟・停滞経済期：生き甲斐を求め働く時代（H3～）

としてそれぞれの時代の女性の働き方を説明します。

働くことは経済行為であり、経済の在り方と不可分であることと、ちょうど戦後の経済史の区分が女性の働き方の変遷と一致しているからでもあります。

基本的にはこの時代区分により新潟の女性の働き方を説明していきます。

最後にこれから時代の女性の働き方について展望してみます。

働くことについて考えてみたい。祖母や母の人生について知りたいという方などふるってご参加ください。グラフや写真・新聞記事などを用いて分かりやすい説明をこころがけるつもりです。